

笑ひ・涙・感動

小田地区民祭

十一月二十一日(日)小田小学校体育館で「第十二回小田地区区民祭」が盛大に開催されました。

平成四年に小田生き活き健康村(会長武石俊一)が地区民の親睦と地域の活性化のために始めた手作りの祭りで隔年開催とし、今年で十二回目を迎えました。

当日は二年に一度の小田の「農休日」とし、午前十時に開会、オープニングでは地元琴愛好者による大正琴の演奏で幕開けしました。今年には新しい試みとして「映像と語りで振り返る・小田の歴史と未来を見つめて」と題して、小田から出兵、帰還した泊里の江隈克喜さんの戦争体験の語り、次に、小田の人口・年齢構成・就農者の動向等を



スライドを使い解説を行いました。人口の減少、高齢化の推移が数字で示され、改めて小田地区の将来を考えるいい契機となりました。第一部の最後に「ぼくの夢、私の夢」と題して小田小学校の二名の児童による発表があり、将来の頼もしい夢を拝見し、子どもたちに大きな期待の持てる素晴らしい発表でした。

第二部の一村一芸大会では、小田小学校児童による合唱や話し方、自治区毎に趣向を凝らした「笑いあり、涙あり、感動あり」の踊りや演奏など多彩な出し

物に、地区内外から訪れた多くの人が楽しい一時を過ごしました。

「おたから文化祭」も同時開催され、生け花、書道、手芸など数多く展示され、地区民の趣味の広さを伺うことができました。また、昔の風景や歴代の小学校卒業写真も展示され、訪れた人が懐かしい写真に目を細めていました。

各種サークルによるバザーコーナーもあり、会食を楽しみながら「小田の農休日」を楽しみました。

塚小「おやじの会」で料理に挑戦!

11月20日(土)塚脇小学校で「おやじの会」(会長 森谷博幸)の会員9名と1年生から6年生までの児童16名が、昼ごはんとおやつ作りに挑戦しました。

初めて包丁を握った児童もいましたが、中には手慣れた児童もいて、父親の料理教室になって大笑いのひと幕もありました。目的はひとつ、「おいしいご飯とデザートを作ること」。で、味の方は・・・とっても美味しい! 参加者全員で楽しくいただきました。

午後は、会員で校舎裏山の危険個所の点検と校庭のジャングルジムの補修作業を行いました。

おやじの会は、塚脇小に通う児童の父親の会で現在会員は約30名、行事を通じて親子の親睦を図るとともに子どもの自主性を養うことを目的とし、児童が大好きで楽しい学校となるよう、また会員が楽しめる会を目指し活動しています。



おやじの会
おやじの会
おやじの会

修ちゃんを救う会 募金にご協力ください

先日チラシでお知らせしたとおり、玖珠地区コミュニティでは「修ちゃん」の心臓移植手術のための募金を行っています。

募金箱及び募金用口座に暖かいご支援ありがとうございます。目標額に達するまで募金活動は継続中ですので、皆様のご協力をお願いします。

募金は、くすふれあいホール設置の募金箱及び下記口座への振り込みでお願いします。

玖珠九重農業協同組合 本店
普通 0082454
玖珠地区コミュニティ運営協議会
募金係 代表 井原 道善



くすふれあいホール玄関の募金箱